

2 市立稲毛高校・附属中学校

(1) 基本調査結果

ア 生徒数等（各年度5月1日現在の数） ※市立稲毛高校附属中学校

【生徒数】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1年	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
2年			39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
3年					39	40	40	40	40	40	40	40	40	40
合計	79		159		239		240		240		240		240	

【入学者選抜】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
募集定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
志願者数	694	939	456	546	391	576	394	446	368	483	371	462	374	454
	1633		1002		967		840		851		833		828	
志願倍率	17.4	23.5	11.4	13.7	9.8	14.4	9.9	11.2	9.2	12.1	9.3	11.6	9.4	11.4
	20.4		12.5		12.1		10.5		10.6		10.4		10.4	
受検者数	689	933	452	544	389	575	383	444	358	476	355	445	362	435
	1622		996		964		827		834		800		797	
受検倍率	17.2	23.3	11.3	13.6	9.7	14.4	9.6	11.1	9.0	11.9	8.9	11.1	9.1	10.9
	20.3		12.5		12.1		10.3		10.4		10.0		10.0	

【居住区別生徒数】

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H19入学生	11	18	17	12	7	14	79
H20入学生	14	11	10	12	6	27	80
H21入学生	9	14	7	14	13	23	80
H22入学生	21	11	9	7	8	24	80
H23入学生	20	15	10	10	6	19	80
H24入学生	19	9	13	10	6	23	80
H25入学生	16	12	14	12	4	22	80

【職員数】

職員数	校長(1)、副校長(1)、教諭(15)、養護教諭(1)、主事(1)
兼務の状況	中学籍の職員には高校の兼務発令、高校籍の職員には、実習助手と技能員を除き中学の兼務発令が出されている。

【部活動加入者数】

部活動名	平成22年度			平成25年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
軟式野球	26	0	26	20	0	20
サッカー	18	1	19	23	0	23
ラグビー	0	0	0	1	0	1
ソフトテニス	11	17	28	25	22	47
陸上競技	14	6	20	4	10	14
卓球	9	1	10	6	0	6
柔道	1	0	1	0	0	0
剣道	10	0	10	6	3	9
バスケットボール	0	13	13	0	11	11
バレーボール	0	0	0	0	5	5
ヨット	8	1	9	9	1	10
硬式テニス	4	2	6	4	5	9
ソフトボール	0	1	1	0	0	0
合計	101	42	143	98	57	155
加入率	84.2%	35.0%	59.6%	81.7%	47.5%	64.6%

部活動名		平成22年度			平成25年度		
		男子	女子	計	男子	女子	計
文 化 部	吹奏楽	5	23	28	2	20	22
	弦楽オーケストラ	0	20	20	0	21	21
	ESS	5	7	12	1	8	9
	美術	2	3	5	4	2	6
	書道	0	8	8	0	5	5
	茶道	0	2	2	0	5	5
	地学(科学)	1	0	1	0	0	0
	放送	0	3	3	0	0	0
	文芸	0	2	2	0	0	0
	華道	0	4	4	0	0	0
	工芸	0	2	2	11	0	11
	合計	13	74	87	18	61	79
加入率	10.8%	61.7%	36.3%	15.0%	50.8%	32.9%	
部活 全体	合計	111	107	218	116	116	232
	加入率	92.5%	89.2%	90.8%	96.7%	96.7%	96.7%
未加入者		9	13	22	4	4	8

※ 市立稲毛高校

【クラス数】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
普通科	8	9	9	7	7	7	7	7	7
国際教養科	1	1	1	1	1	1	1	1	1
学年合計	9	10	10	8	8	8	8	8	8
学校合計	29			24			24		

【生徒数】

		平成16年度			平成22年度			平成25年度		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
普通科	1年	154	171	325	132	149	281	139	143	282
	2年	146	180	326	139	143	282	135	145	280
	3年	188	177	365	122	158	280	140	140	140
	合計	488	528	1016	393	450	843	414	428	842
国際教養科	1年	5	35	40	9	32	41	9	31	72
	2年	8	33	41	4	36	40	9	31	40
	3年	5	34	39	5	34	39	8	29	37
	合計	18	102	120	18	102	120	26	91	117
学校合計		1136			963			959		

【入学者選抜】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度	
入学志願 倍率	特色 &前期	普通科	5.77	2.74	1.95
		国際教養科	4.07	3.15	1.63
	学力 &後期	普通科	1.41	1.54	1.38
		国際教養科	1.23	1.85	1.3

【居住区別生徒数】

		中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	他市町村	合計	
平成 16 年度	1年	普通科	36	51	89	44	55	48	2	325
		国際教養科	3	5	4	2	3	3	20	40
	2年	普通科	52	36	70	39	74	50	5	326
		国際教養科	4	1	2	1	5	4	24	41
	3年	普通科	39	62	67	39	91	65	2	365
		国際教養科	3	0	2	1	6	2	25	39
合計	普通科	127	149	226	122	220	163	9	1016	
国際教養科	10	6	8	4	14	9	69	120		
平成 22 年度	1年	普通科	48	53	46	34	58	41	1	281
		国際教養科	3	2	6	1	4	1	24	41
	2年	普通科	42	38	54	32	63	53	0	282
		国際教養科	2	3	3	1	1	2	28	40
	3年	普通科	45	31	57	33	65	49	0	280
		国際教養科	2	4	1	2	1	3	26	39
合計	普通科	135	122	157	99	186	143	1	843	
国際教養科	7	9	10	4	6	6	78	120		
平成 25 年度	1年	普通科	50	32	52	26	35	87	0	282
		国際教養科	1	0	2	5	1	1	30	40
	2年	普通科	51	37	44	40	46	61	1	280
		国際教養科	2	1	3	1	5	3	25	40
	3年	普通科	50	40	40	24	39	87	0	280
		国際教養科	7	4	1	0	1	4	20	37
合計	普通科	151	109	136	90	120	235	1	842	
国際教養科	10	5	6	6	7	8	75	117		

【職員数】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度
実働職員 (臨任含む)	全職員	99	111	113
	生徒指導部職員	8	8	8
	進路指導部職員	9	12	12
	教務部職員	12	13	13
	英語科	15	16	16
	ALT※・NTE※	3	5	5

※ALT：英語の授業等で日本人教師を補助する外国人指導助手

※NTE：外国人英語講師

【部活動】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率
運動系	14	625	55.0%	16	517	53.7%	16	508	53.0%
文科系	15	308	27.1%	15	248	25.8%	16	234	24.4%
合計	29	933	82.1%	31	765	79.4%	32	742	77.4%

【進路】

			平成16年 (平成15年度卒)	平成22年 (平成21年度卒)	平成25年 (平成24年度卒)
大学	国公立	男子	11	5	12
		女子	5	7	14
		合計	16	12	26
	私立	男子	79	85	71
		女子	121	119	120
		合計	200	204	191
		対卒業生率	4.0%	3.7%	8.3%
		対卒業生率	50.3%	63.2%	61.0%
短期大学	男子		0	0	0
	女子		16	10	10
	合計	人数	16	10	10
			対卒業生率	4.0%	3.1%
専門学校	男子		7	2	2
	女子		27	10	7
	合計	人数	34	12	9
			対卒業生率	8.5%	3.7%
留学／留学予定	男子		1	0	0
	女子		5	0	1
	合計	人数	6	0	1
			対卒業生率	2.2%	0.0%
就職	男子		1	1	0
	女子		1	1	0
	合計	人数	2	2	0
			対卒業生率	0.5%	0.6%
未定 (次年進学希望等)	男子		80	54	53
	女子		44	29	23
	合計	人数	124	83	76
			対卒業生率	31.2%	25.7%

イ 教育課程 ※市立稲毛高校附属中学校

	稲毛高校附属中学校の特徴
年間総授業時数	標準1015時間のところ1155時間を展開
学校設定科目	1 「世界と日本」 3年間で20時間実施 2 「総合科学」 3年間で25時間実施 3 「英語コミュニケーション」 3年間で105時間実施
教科の授業時数の増加 (3年間)※1	1 国語75時間増 2 社会20時間増 3 数学140時間増 4 理科60時間増 5 英語105時間増
特色ある教科の指導内容	1 国語 ○読解応用と国語総合基礎 2 社会 ○地理Aの一部を先取り 3 数学 ○数学A・数学Iの一部を先取り ○数学を体系的に学ぶ 4 理科 ○化学・物理分野を先取り ○科学研究論文を中学1～3年まで徹底指導する。 ○中学～高2まで体系的に一貫シラバスで学ぶ 5 技術 ○情報分野は高校情報Cまでの一貫カリキュラム 6 英語・英語コミュニケーション ○中1～高3まで一貫シラバス 7 総合的な学習の時間 ○国際人プロジェクト※2
指導の例	1 国語 文語文法基礎、評論文、小説読解 2 世界と日本 世界と日本の比較文化研究 3 数学 整式、不等式、2次方程式、集合、条件と命題 4 総合科学 原子・分子の構造、モルの計算、ニュートン力学 5 英語 分詞構文、過去完了、関係詞、仮定法
特色ある授業展開	1 習熟度別・少人数学習、ティーム・ティーチング 2 高校の専門教員による指導 3 ネイティブ講師による指導、Call教室での指導（英語）
特色ある行事	1 スタートアップセミナー、職場訪問・地域研究、言語技術講座、情報処理技術講座、求道（茶道・合気道）研究、体験講座（中1） 2 自然教室、職場体験、大学研究、プレゼンコンテスト（中2） 3 修学旅行、大学訪問、テーブルマナー講座（中3） 4 海外語学研修（高2）

※1年間総授業数を増加させた分と教科等（選択・総合的な学習の時間）間の授業時数を調整させることで、時数を確保

※2国際理解のための考え方・表現力を身に付け、自国・地域の文化を積極的に発信し、交流することができる「真の国際人」を目指す。

※市立稲毛高校

		改革前 (平成16年度入学生用教育課程)	改革後 (平成22年度入学生用教育課程)	現行 (平成24年度入学生用教育課程)	
課程・学科		全日制・普通科			
学校 設定 科目	地理歴史	/	3科目		
	公民		1科目		
	数学			1科目	
	理科			4科目	
	外国語			1科目	
選択 科目	1年	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	
	2年	物理Ⅰ・生物Ⅰ・地学Ⅰ(3単位)から1科目選択	物理Ⅰ・生物Ⅰ・地学Ⅰ(3単位)から1科目選択	物理基礎・地学基礎(3単位)から1科目選択	
		音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	
	3年	文系	A選択(2単位)4科目から2科目選択	A選択(2単位)3科目から1科目選択	文系 A1選択(4単位)2科目から1科目選択
			B選択(3単位)7科目から1科目選択	B選択(2単位)3科目から1科目選択	
		理系	A選択(2単位)5科目から1科目選択	A選択(2単位)3科目から1科目選択	理系 A1選択(4単位)2科目から1科目選択
B選択(3単位)7科目から1科目選択			B選択(3単位)6科目から2科目選択	A2選択(2単位)6科目から2科目選択 B選択(3単位)3科目から1科目選択	
大学における学修			2年次に本人希望のもと、学校の推薦を得たものが履修(1~2単位)		

(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果

※(小)小学校長代表意見 (中)中学校長代表意見

No	項目	小・中学校長代表から	高校からの回答
1	全体としての改革の成果について	校訓と学校教育目標とのつながりがわからないが？(小)	校訓は、開設以来のものなので、基本的に変えることはできない。一方、実態に合わせた教育に対しては、教育目標で対応している。
2	真の国際人を育成する教育について	「真の国際人の育成」をどのようにとらえているか。(中)	企業の求める人材との違いを考慮し、チャレンジ精神や忍耐強く努力する力などを育成することを目標としている。
		専門性の高さを感じる。海外で活躍する人材は育っているのか。(中)	直接海外の大学へ進学する生徒は多くはない。一方で、国際系や留学に実績のある大学に進学し、海外へ出ていく生徒は増えている。

		英語科教員のレベルの維持はどうしているのか。(中)	教員相互の授業観察や、ネイティブの職員との研修などを行っている。また、生徒の引率で海外に出る教員も多い。
		「日本人としてのアイデンティティの確立」はどう考えているのか。(小)	「確かな学力」、「豊かな人間性」、「調和のとれた体力」の上に「他者を理解する力」、「異文化理解」を重視している。
3	中高6年間の継続的な指導について	附属中が難関になり、入学しにくい。できれば定員数を増やしてほしい(小)	学校の特徴を理解し、本当に入学したいと思っている生徒に入学してもらいたいと考えている。入学者選抜では、私立のように学力検査ではなく適性検査を実施しているため、入学後の学力差がみられることが課題となっている。 また、定員に関しては、学校で判断できないが、高校から入学する生徒数の関係もあり、簡単に増加させることはできないと思われる。
4	教育ニーズ多様化への対応について	生徒のメンタルのケアなどはどのようになっているか?(小)	全体としてメンタル面で弱い生徒が増えており、カウンセリングの充実や保健室の対応を重視している。
5	小中学校現場や地域へのアピール	文化祭は高校の内容を見る良い機会であるが、市立両校とも7月に実施している。その頃は、中3生は最後の総合体育大会前で見学しにくい。(中)	文化祭で好評だった生徒の活動をほかの時間や場所でも紹介するようにしている。三線演奏やエイサーなどは様々なところからご要望をいただき、実演している。
		国際教養科の進路実績をもっと強調してもいいのではないか。(中)	英語科・国際科を持つ高校の中でも、市立稲毛高校のように普通科に勝るとも劣らない実績を上げている学校は少ない。着実に実績が伸びていることを個別に伝えていきたいと考えている。

(3) 聞き取り調査結果 対象：市立稲毛高校・附属中学校の副校長・教頭・教務主任等

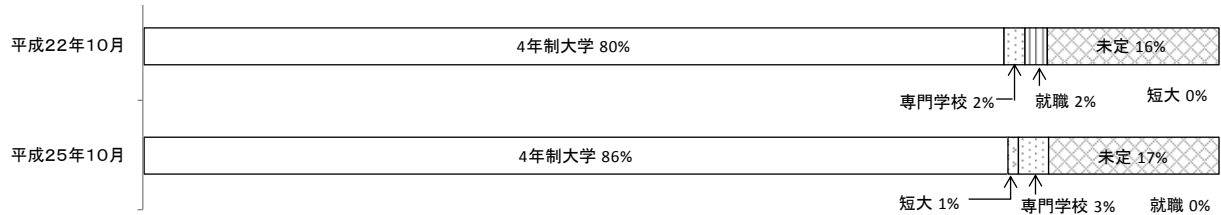
No	項目	意見
1	全体としての改革の成果について	<p>内進生の英語指導に対しては、語学研修を柱にした英語教育を行ってきた。その結果、内進上位層は国際教養科と同程度の英語力が付いてきている。また、オーストラリア語学研修は、英語力のみならず、人間的成長にも寄与できたと思う。GTECの下位層は、3年になって減った。</p>
		<p>海外の語学研修受入れ校における日本文化をリサーチした発表は、極めて評判がよかった。ただし、生徒への事前・事後指導のための職員の業務量はたいへん大きかった。</p> <p>また、ハンドアウトの教材プリントを作成するにしても、教科内のチームワークがないとできない作業であった。</p>
2	真の国際人を育成する教育	<p>英語ディベートを学ぶ学校設定科目（エッセンシャルイングリッシュII）の実施により、生徒は語学だけではなく、思考力や表現力の向上につながっている。</p>
		<p>海外語学研修(オーストラリア)に参加することで生徒の英語に対する見方が変わり、GTECの得点が上昇した。その後の英語力の飛躍につながった。</p>
		<p>現在、海外交流校が7校あるが、それらすべての学校との交流は、スタッフ面・資金面で不可能である。現在、3校のみと姉妹校交流しているが、今後、拡大が望まれる。</p>
		<p>最近の活動実績として「第5回千葉県高校生英語ディベート大会」（平成25年11月1日 成田国際高校で開催）に出場し第1位、「第8回全国高校生英語ディベート大会in長野」（平成25年12月18・19日 松本大学で開催）に出場し、第21位などがある。</p>
3	中高6年間の継続的な指導について	<p>平成25年度から普通科の教育課程が統一されたことに伴い、内進生と外進生の学習進度の違いを考慮した中高の教育内容全体を検討していくことが必要である。</p>
		<p>理科については中高の枠を超えて教科内で連携がうまくいっている。施設面では「中学のための実験室」「中学のための技術棟」が無い状況があり、この点が改善されれば、よりスムーズな学習の流れができると思う。</p>
		<p>GTECは毎年7月に中学2年以上の全生徒が受験しており、25年度、高校3年の内進生の平均スコアは594点（英検2級相当レベルは570点以上）であった。当初の目標は「高校2年までに英検2級に全員合格」を挙げていたが、現在、学校として英検は個人受検でという位置づけにしていることもあり、当初の目標は達成できていると考えている。</p>
		<p>適性検査の日程について、現状の1月末の日程では、中高ともに在校生への指導との兼ね合いが難しい。その時期の授業が細切れになってしまい、生徒への影響を考慮した検査日程や在り方を検討すべきだと思う。</p>

No	項目	意見
4	文武両道の 伝統につ いて	内進生は高校入試がなく、中学時代から継続して部活動ができるため、高校になり活躍している部活動も見られた。 中学と高校の行事日程を組み合わせる計画することが難しい場合がある。例えば、文化祭の翌週に中学の総合体育大会を実施するといった、厳しい日程を組むことになってしまった。
		平成24年度は、高校の野球部が県大会ベスト16、バドミントン部が県大会ベスト8、ダンスドリル部が全国大会に出場している。
		中間まとめでは「中学3年生になった時に、最高学年としての自覚をいかに育成するか」が課題となっていたが、これに対して高校とは別に、中学は学年別に生徒会を組織して独自の活動を行っている。特に中学3年生については、学校評議会の中心メンバーとして文化祭をはじめ、各種校内行事の運営に積極的に関わることで、集団における統率力や中学校最高学年としての自覚を育成している。
		中学校の野球部やサッカー部の練習場所が課題となっていたが、昨年度までは公営施設（千葉市卸売市場のグラウンド）を借用して対応していた。（また、今後、隣接する学校跡施設を活用する予定である。）
5	教育ニーズ の多様化へ の対応につ いて	「中高一貫における生徒間の学力差」に対して、特に英語と数学については、教科担当レベルでの個人指導を通年で実施している。また、高校生になってからも、中学の先生が成績不振者を対象に課外補習を実施している。
		今年度から養護教諭が1名増員の中高3人体制になり、従来のスクールカウンセラーに加えて相談体制が強化された。
6	小学校現 場や地域 へのアピ ールなど	小学校の児童・保護者向けには、学校説明会と学校見学会を7月と11月に実施している。小学校の教員に対しては、職員向け説明会で、学校の紹介と出願方法の説明をしている。
		千葉市教育研究会国際理解部会等でも本校を参観したい希望があれば受け入れている。中学職員の初任者研修でも授業を公開している。
		部活動（吹奏楽部、ESS）で近隣の小中学校との交流活動を行っている。
		中学1年の総合的な学習の時間の中で、地域を知る活動の一環として稲毛の浜の清掃活動を行っている。また、同じく中学2年生は、職場体験で地域の各事業所受け入れていただきお世話になっている。
7	学校現場 から見た 市立高校 改革につ いて	内進生と外進生はお互いが刺激しあい、進路実績では改革前よりも伸びている。また、朝学習実施の効果もあり、以前に比べて遅刻数は激減し、違う学校のようになった。
		ともすると市立稲毛高校は「内進生重視」という見方をされてしまう場合があるため、極力、実施可能な教科（今年度は2年次理科の基礎科目）において、内外進のクラスを組み合わせるなどの工夫を行っている。

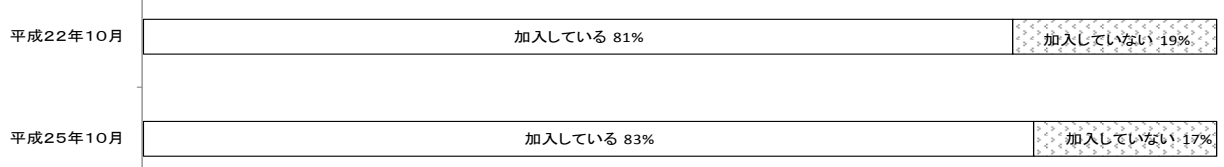
(4) アンケート調査結果

ア 生徒対象(附属中学校第3学年・稲毛高校内進生第1学年)

1 高校卒業後の進路希望について

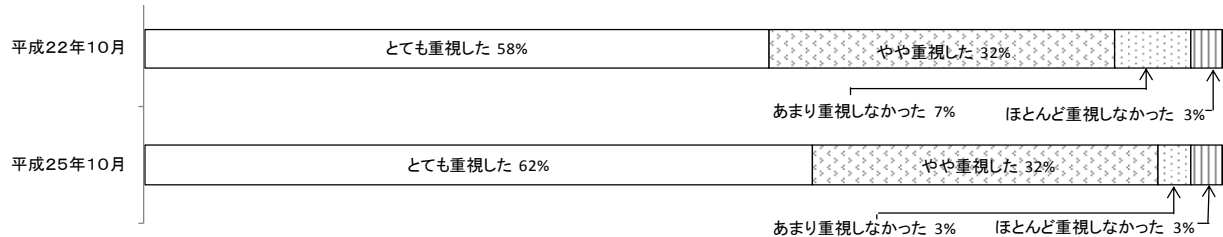


2 部活動に加入しているか。

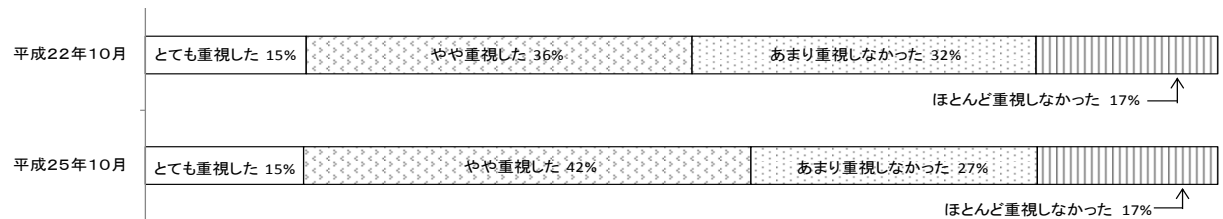


3 小学校6年生の時、稲毛高等学校附属中学校を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視したか。

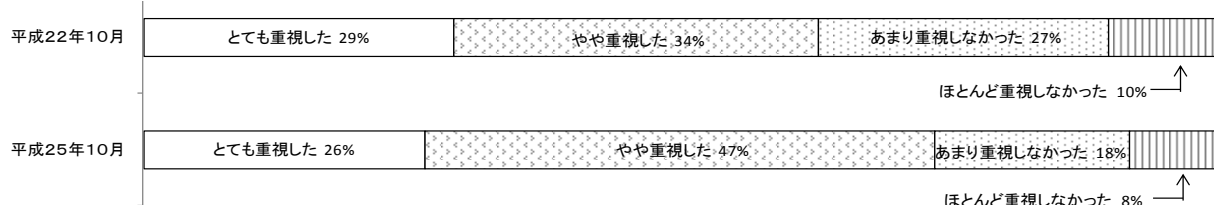
(1) 高校受検がなく、そのまま稲毛高校に進学できる。



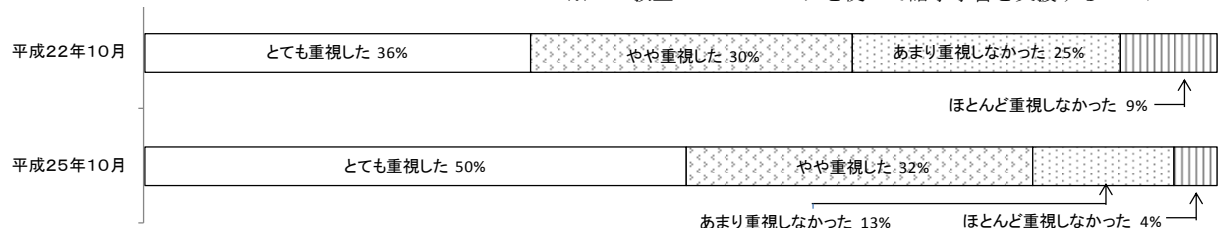
(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。



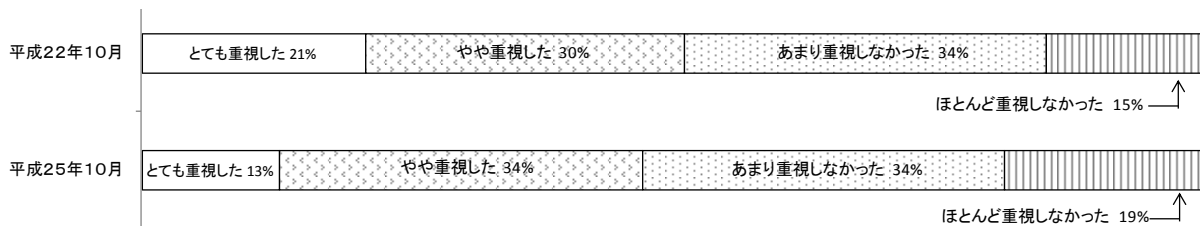
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。



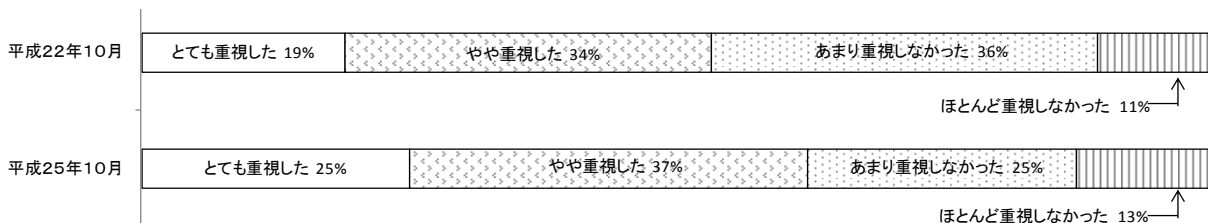
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修があるまた国際交流活動が充実している。 ※Call教室：コンピュータを使って語学学習を支援するシステム



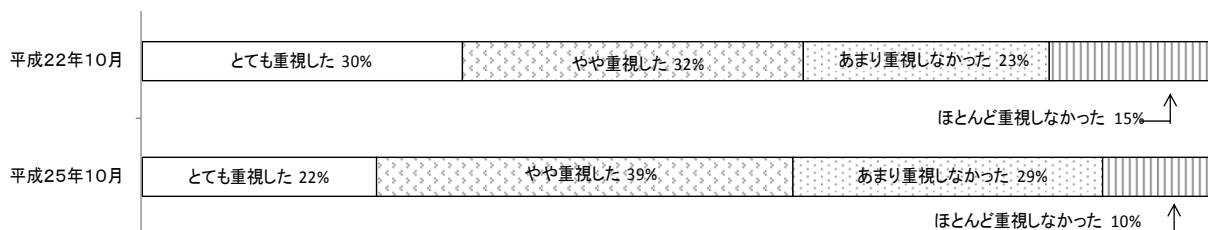
(5) 中高の先生が共同して教えている。



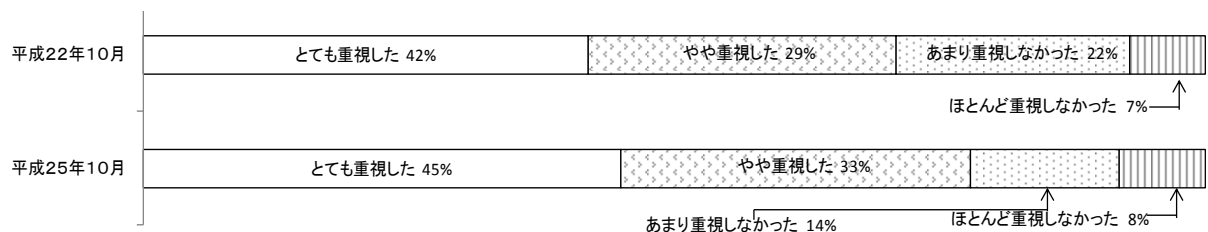
(6) 高校生との交流があり中高共同の活動（部活動・行事・生徒会等）が行われている。



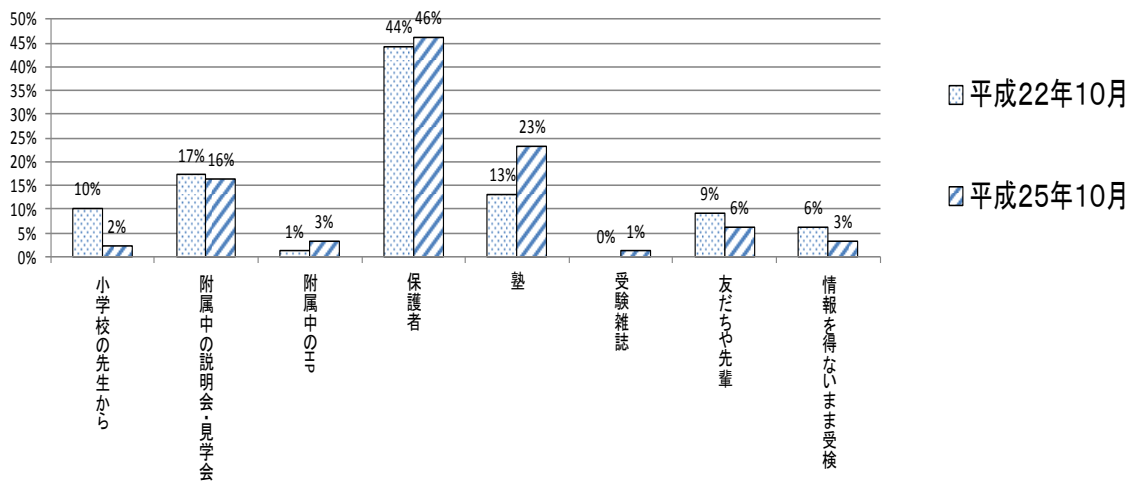
(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。



(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。

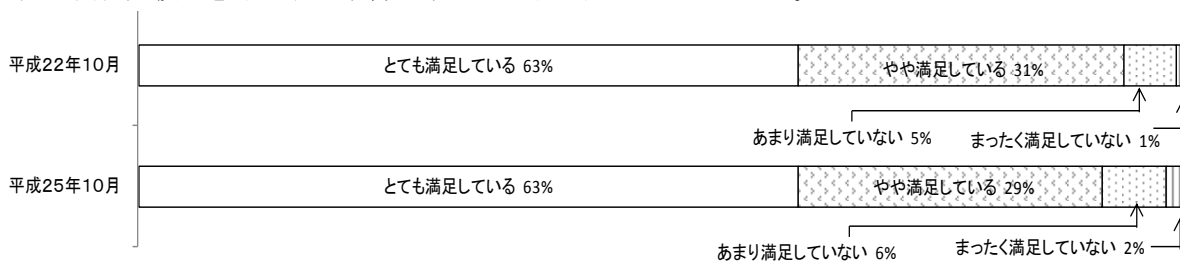


4 附属中の情報をどこ(誰)から知ったか。

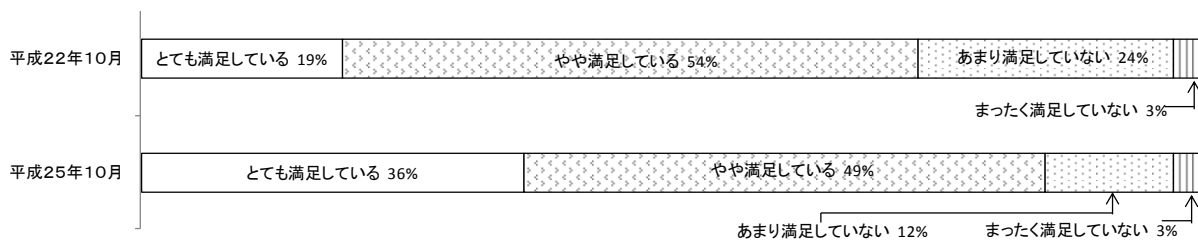


5 これまでの附属中の生活を振り返って、次の項目についてどのくらい満足しているか。

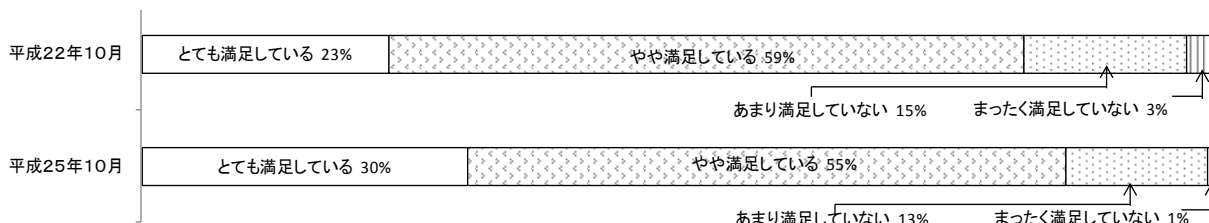
(1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。



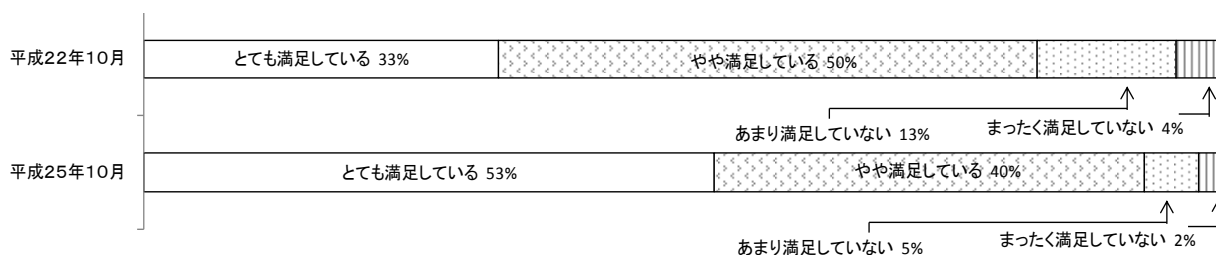
(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。



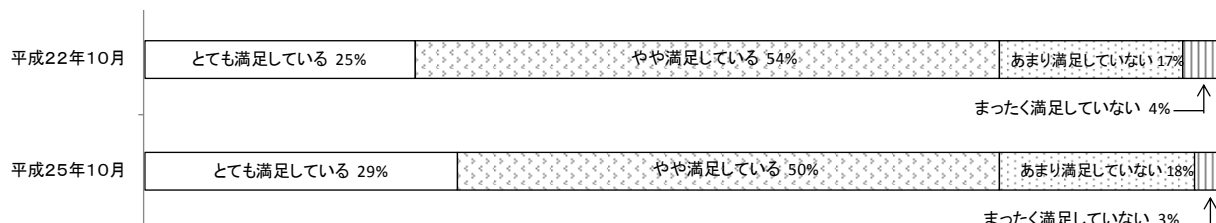
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをおして、総合的に学力を向上することができる。



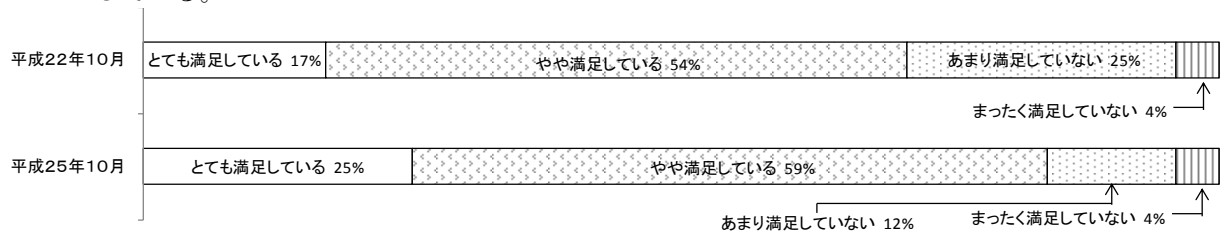
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をとおして国際人としての視野が広がる。



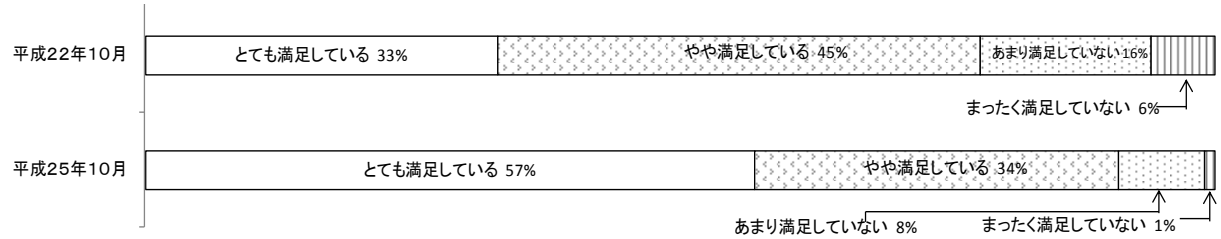
(5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。



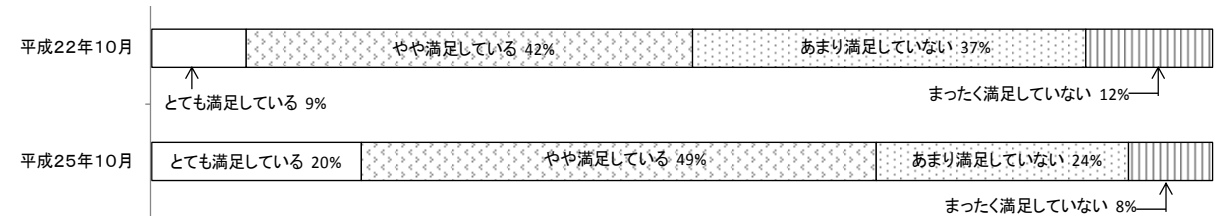
(6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。



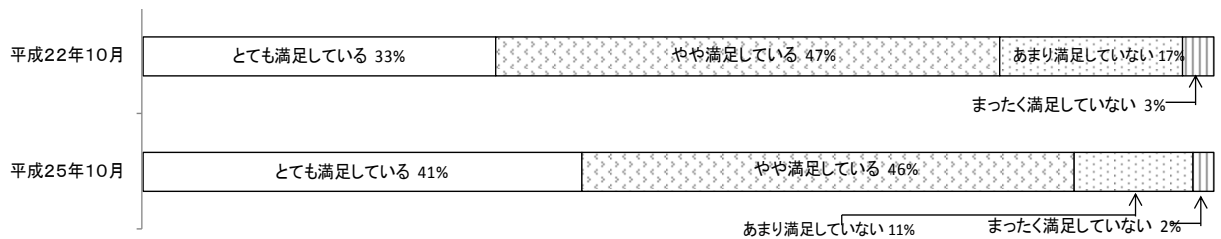
(7) 高校生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）や部活動・生徒会活動が充実している。



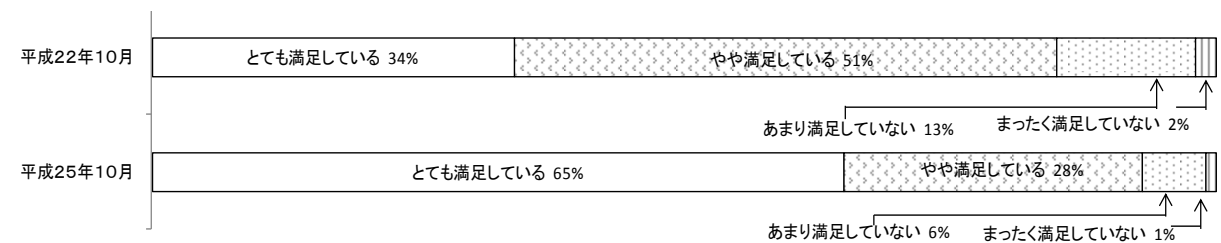
(8) 生活に関する相談や指導が充実している。



(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。



(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。



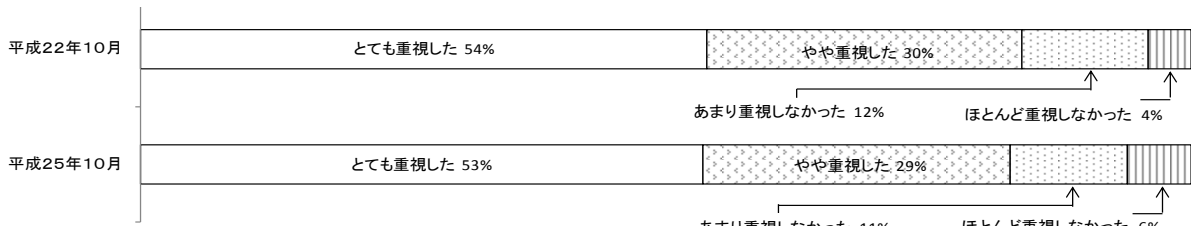
〈回収率〉

対象者	アンケート回収数	回収率
市立稲毛高校附属中第3学年生徒及び稲毛高校第1学年内進生	159	99.4%
合計	160人	

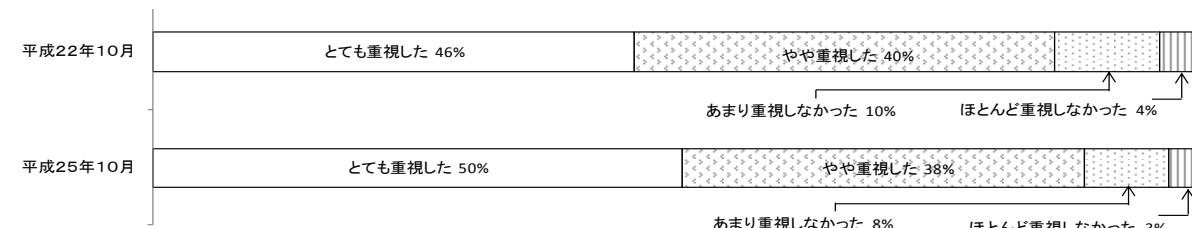
イ 保護者対象 (附属中学校第3学年・稲毛高校内進生第1学年)

1 お子様稲毛高等学校附属中学校を受検するにあたり、次の各項目について、あなたはどの程度重視したか。

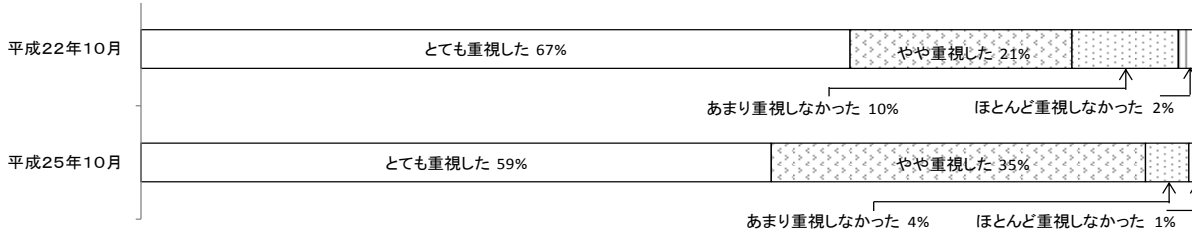
(1) 高校受検がなく、そのまま稲毛高校に進学できる。



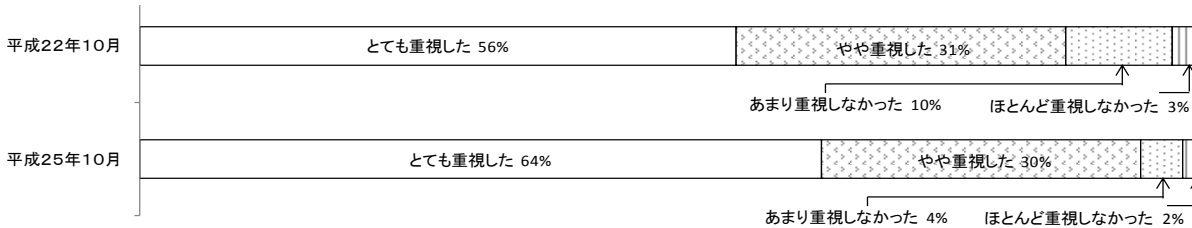
(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。



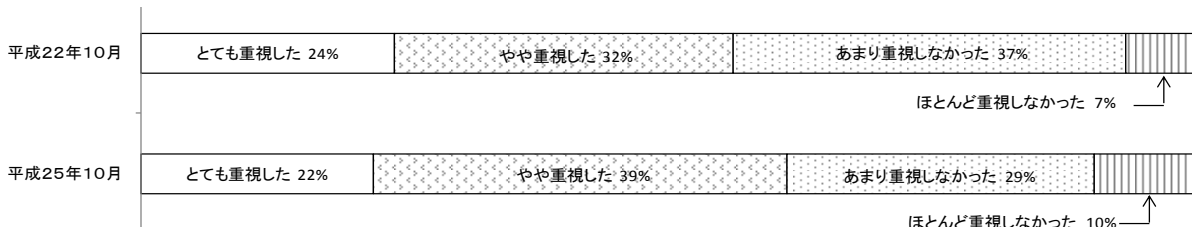
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。



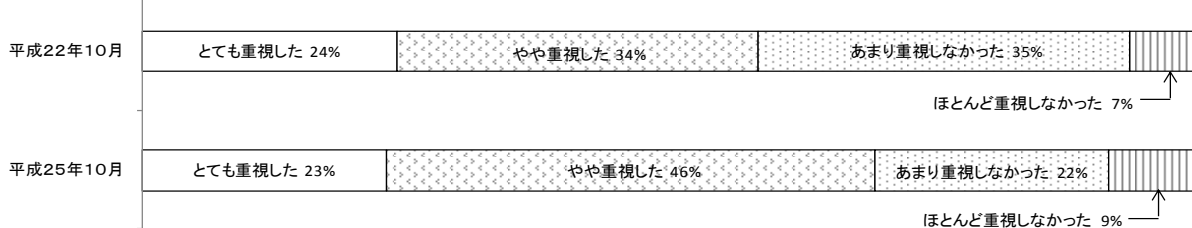
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。



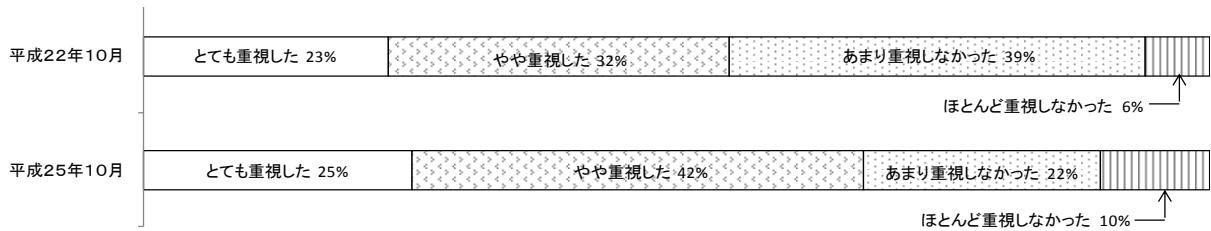
(5) 中高の先生が共同して教えている。



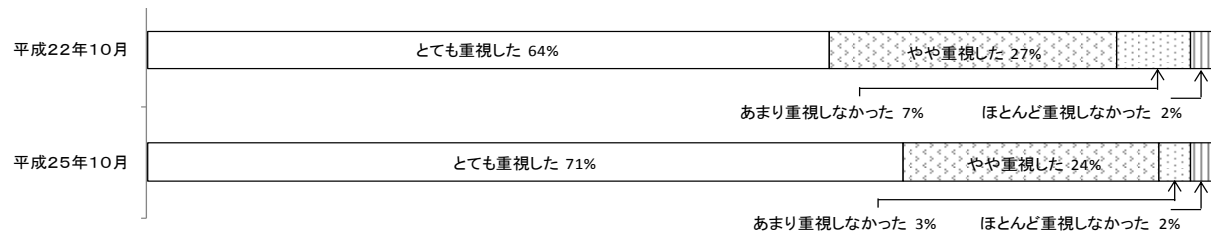
(6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。



(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。

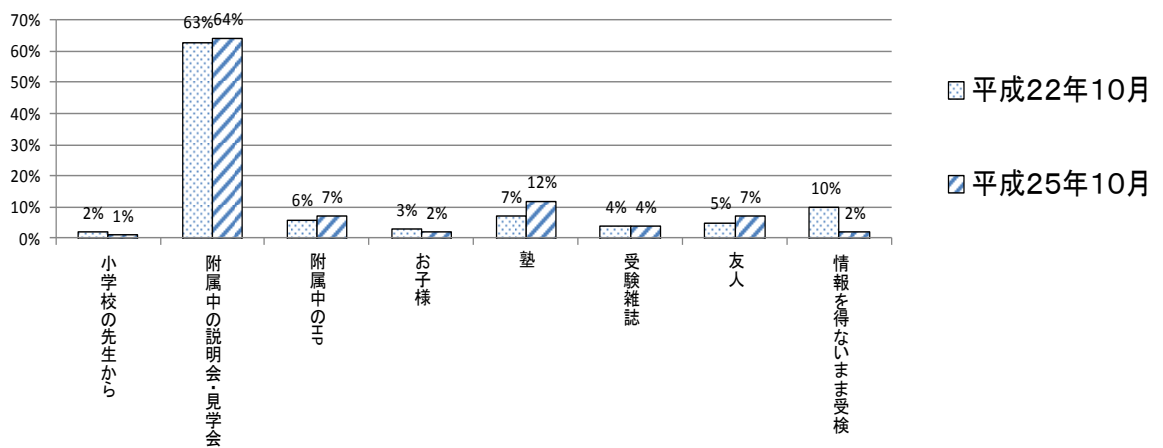


(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。



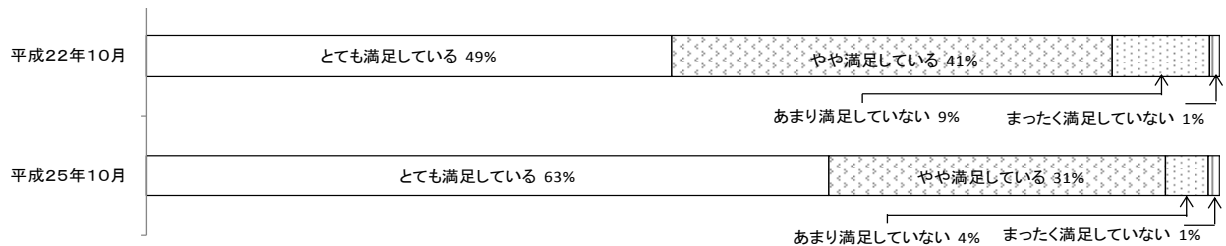
2 附属中の情報について主にどこ(誰)から知ったか。

2 お子様は小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ(誰)から得ましたか。

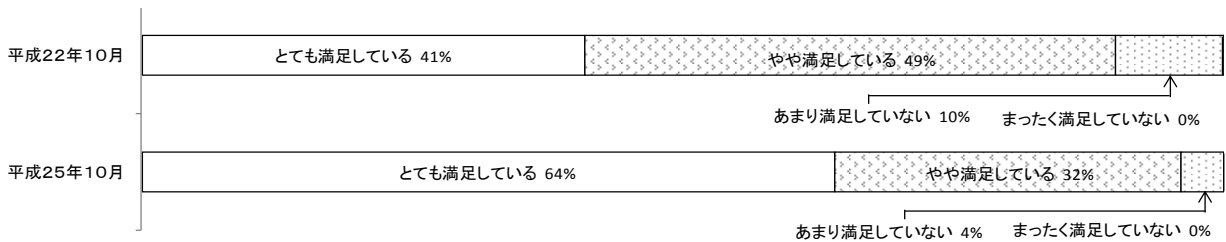


3 附属中学校で、次の項目についてどのくらい満足しているか。

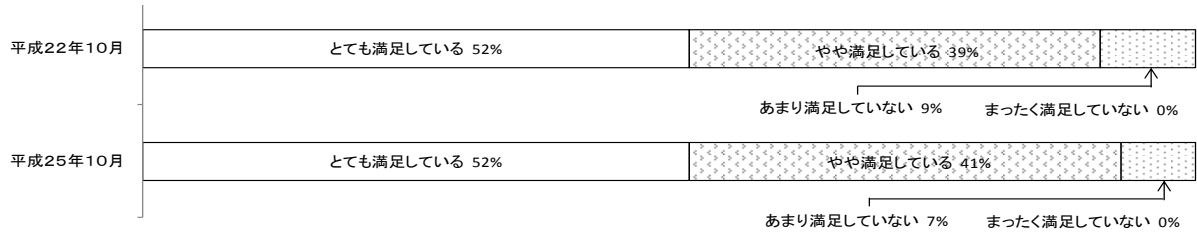
(1) 子どもが高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。



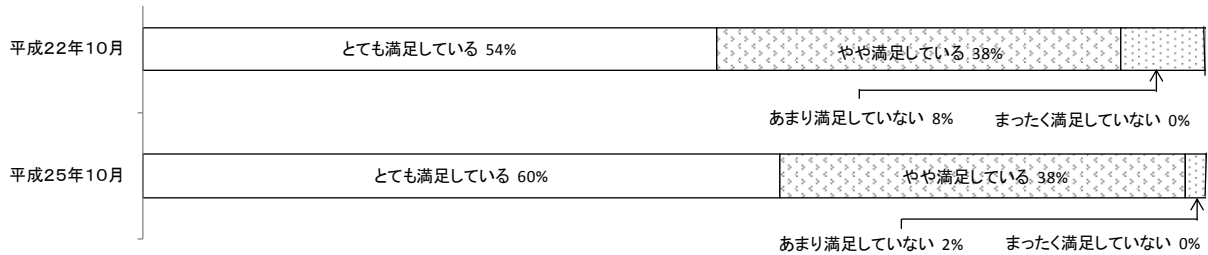
(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。



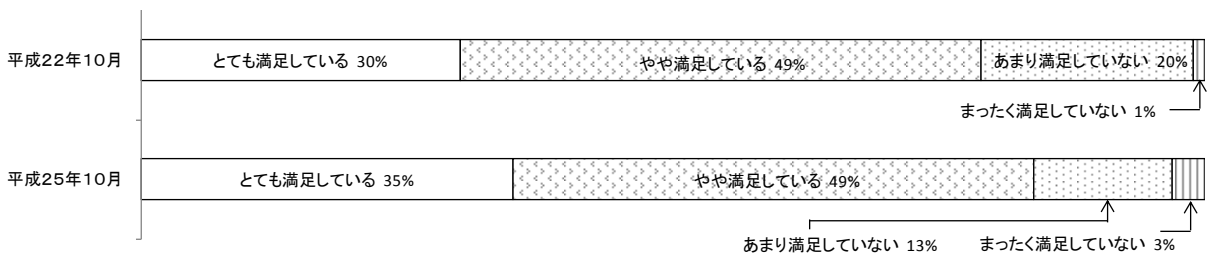
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などとおして、総合的に学力を向上することができる。



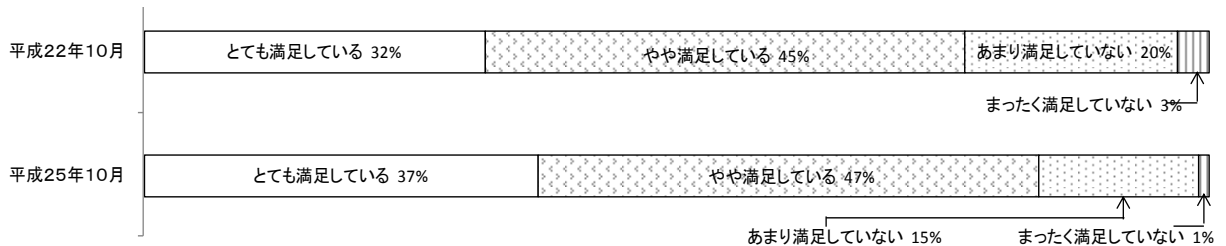
- (4) Call 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をとおして国際人としての視野が広まる。



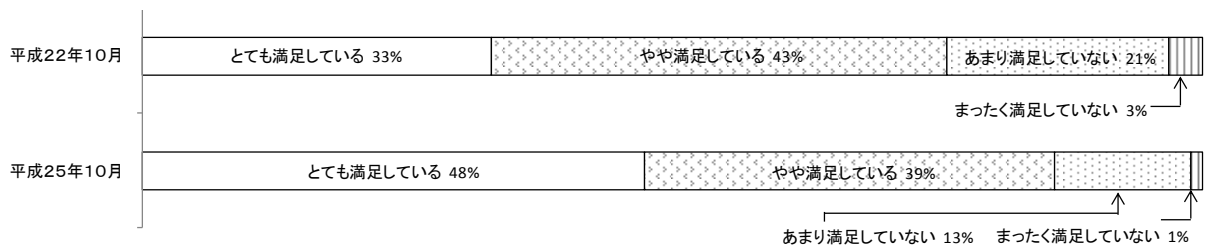
- (5) 子どもが高校の先生による専門的な指導を受けることができる。



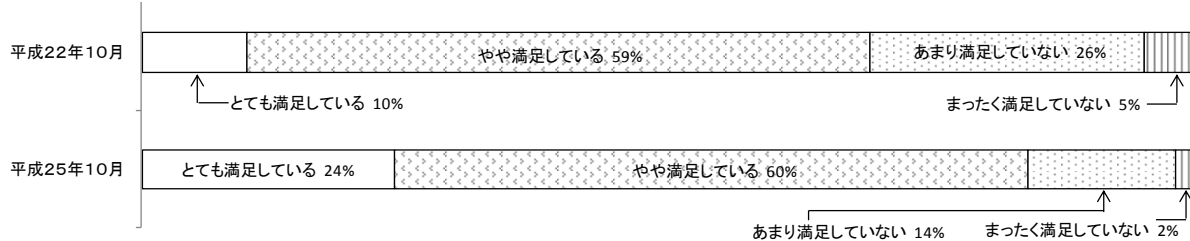
- (6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、子どもが学習内容をきちんと理解できるよう努力している。



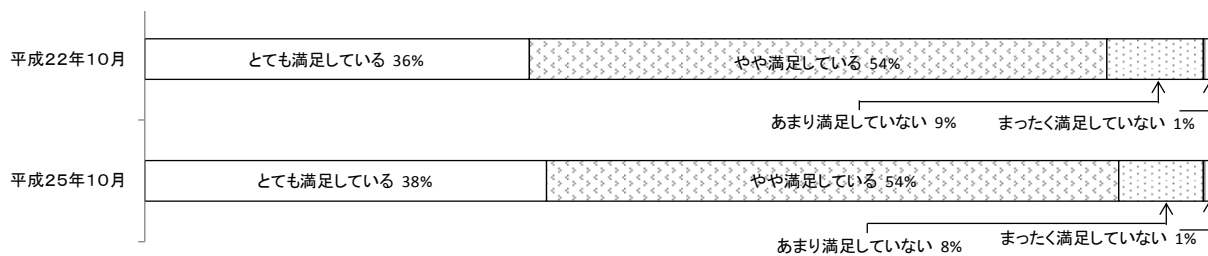
- (7) 高校生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）や部活動・生徒会活動が充実している。



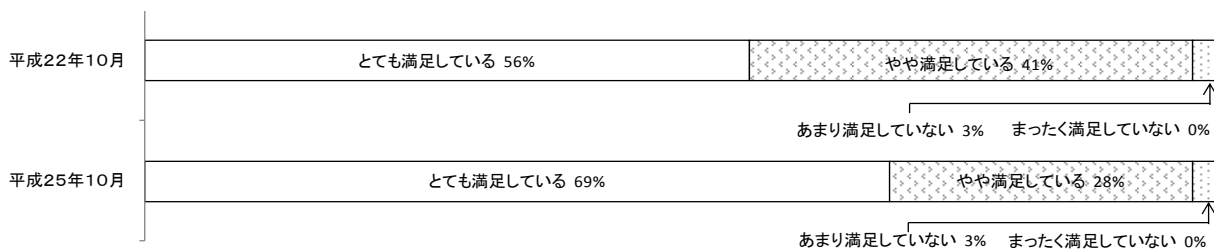
(8) 生活に関する相談や指導が充実している。



(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。



(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。

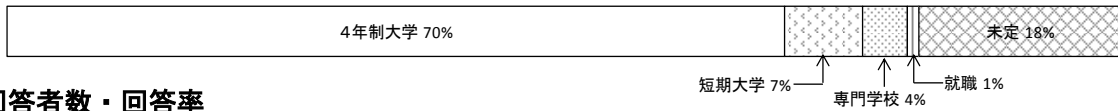


〈回収率〉

市立稲毛高校附属中第3学年生徒及び稲毛高校第1学年内進生の保護者	アンケート回収数	回収率
160人	144	90.0%

ウ 卒業生対象 (平成24年度稲毛高校普通科卒業生)

1 回答者の高校卒業後の進路について



2 回答者数・回答率

	内進生	外進生	合計
回答者	30人	61人	91人
回答率	38%	31%	33%

3 (内進生のみ回答)

a 中学時代に市立稲毛高校の生徒と同じ校舎で学んだことが、学習意欲の向上につながったか。

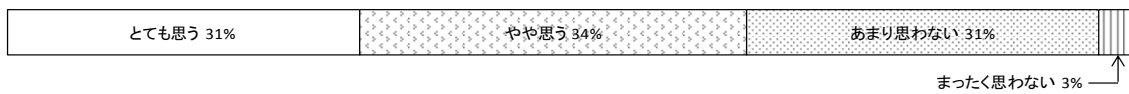


b 高校1年時に同じ学年に外進生が入学してきたことは、学校生活における意欲の向上につながったか。

ア 学習や進路を考える場面



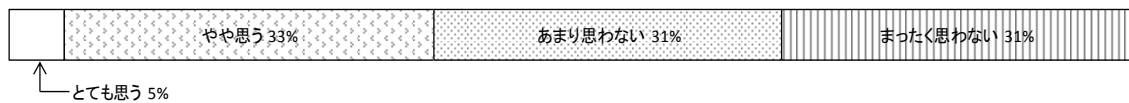
イ ア以外の学校生活全般を行う場面



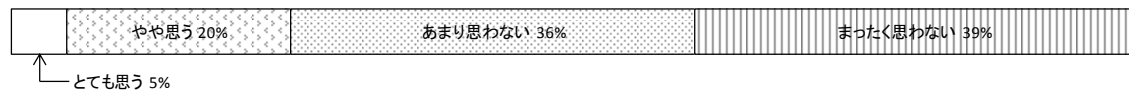
4 (外進生のみ回答)

高校1年時に同じ学年に内進生が在籍していたことは、学校生活における意欲の向上につながったか。

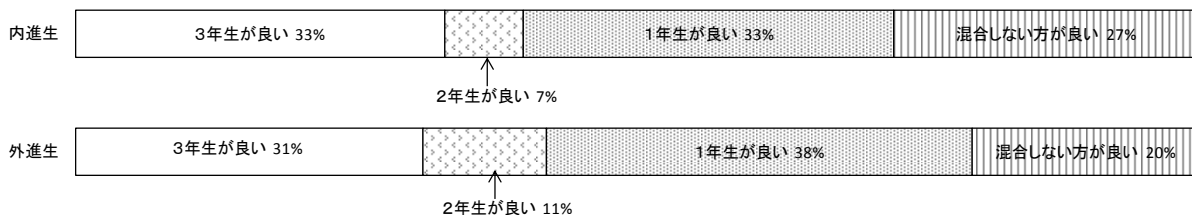
ア 学習や進路を考える場面



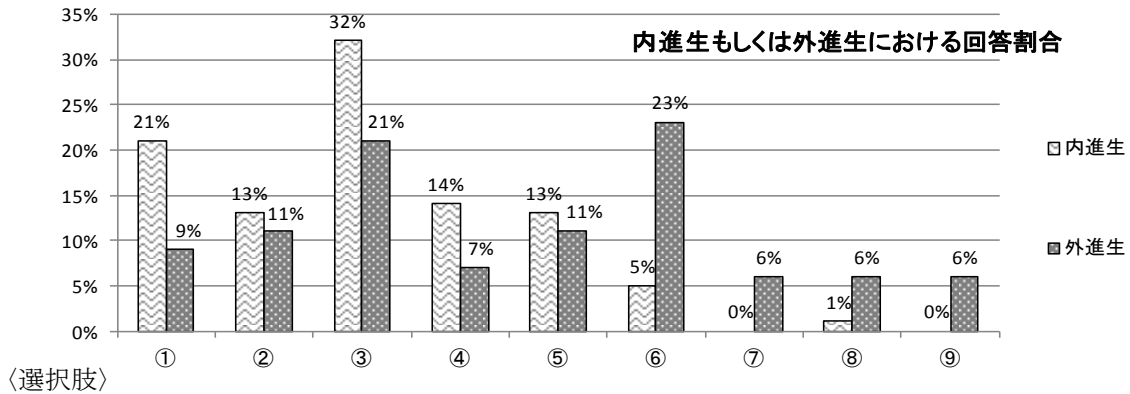
イ ア以外の学校生活全般を行う場面



5 内進生と外進生の混合クラス編成になる時期について

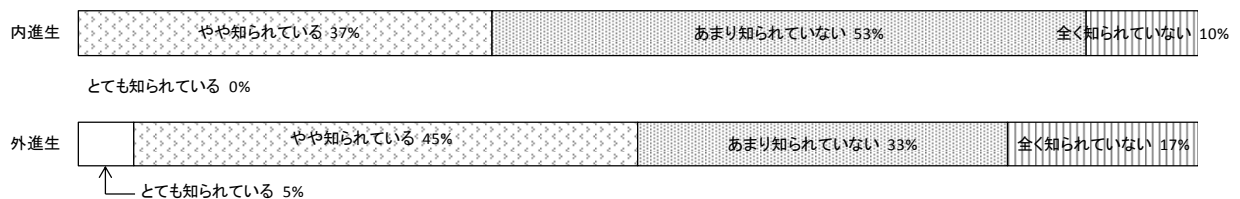


6 「市立稲毛高校の魅力や特色」は、何か。(複数回答可)

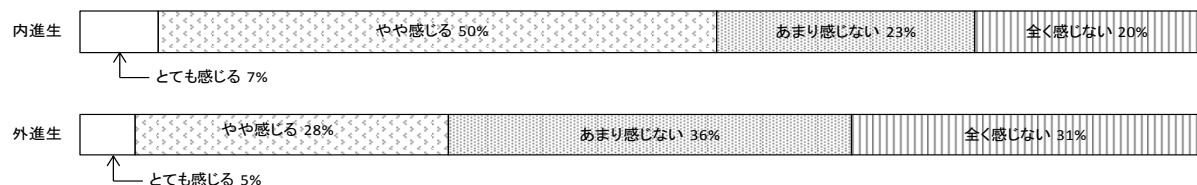


- (選択肢)
- ① 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している
 - ② 文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上することができること
 - ③ Ca11 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高めること
 - ④ 国際交流活動をとおして国際人としての視野が広まること
 - ⑤ 中高一貫校による中学生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）があり、盛り上がること
 - ⑥ 文武両道で部活動・生徒会活動が活発に行われていること
 - ⑦ 進路指導における実績があること
 - ⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること
 - ⑨ その他 [記載内容]
 - ・個性があり、魅力的な人が多い
 - ・先生方が良かった
 - ・吹奏楽部
 - ・生徒会全体が学校行事へ積極的に参加する
 - ・ない（2件）他

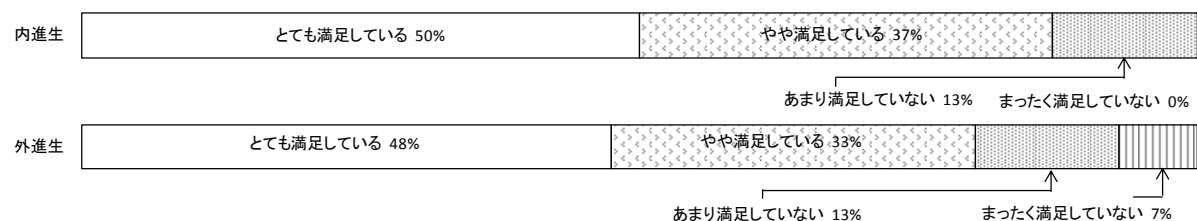
7 「市立稲毛高校の魅力や特色」は市立稲毛高校以外の友人や後輩に知られているか。



8 市立稲毛高校を卒業して、「真の国際人」に近づけたと思うか。



9 市立稲毛高校(附属中学校)に進学したことを満足しているか。



(参考4) 市立稲毛高校・附属中学校【生徒用アンケート】

千葉市教育委員会

あなたの学校生活についてのアンケート(市立稲毛高等学校附属中学校3年生・稲毛高等学校普通科1年生[内進生]対象)

このアンケートは、皆さんに学校生活の様子をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。
回答はすべて枠内のマーカー欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

1 あなたの高校卒業後の進路希望について、あてはまる番号を一つだけ選んでください。
① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定
1の回答… ① ② ③ ④ ⑤

2 あなたは部活動に入っていますか。
① 加入している ② 加入していない
2の回答… ① ②

3 あなたが小学校6年生の時、稲毛高等学校附属中学校(以下「附属中」と言います。)を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視しましたか。(1)～(8)までそれぞれ当てはまる番号を一つだけ選んでください。
① とても重視した ② やや重視した ③ あまり重視しなかった ④ ほとんど重視しなかった

(1) 高校受検がなくそのまま稲毛高校に進学できる。
(1)の回答… ① ② ③ ④

(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。
(2)の回答… ① ② ③ ④

(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。
(3)の回答… ① ② ③ ④

(4) Call教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。
(4)の回答… ① ② ③ ④

(5) 中高の先生が共同して教えている。
(5)の回答… ① ② ③ ④

(6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。
(6)の回答… ① ② ③ ④

(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。
(7)の回答… ① ② ③ ④

(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。
(8)の回答… ① ② ③ ④

4 あなたが小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ誰から得ましたか。主なもの一つだけ選んでください。
① 小学校の先生 ② 附属中の学校説明会・見学会 ③ 附属中のホームページ ④ 保護者 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だち
4の回答… ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

5 これまでの附属中の生活を振り返って、次の項目についてどのくらい満足していますか。
下の(1)～(10)にそれぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。
(高1の皆さんは中学校時代を思い出して答えてください。)

① とても満足している ② やや満足している ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない

(1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組みることができる。
(1)の回答… ① ② ③ ④

(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。
(2)の回答… ① ② ③ ④

(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上させることができる。
(3)の回答… ① ② ③ ④

(4) Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をおして国際人としての視野が広がる。
(4)の回答… ① ② ③ ④

(5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。
(5)の回答… ① ② ③ ④

(6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。
(6)の回答… ① ② ③ ④

(7) 高校生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)や部活動・生徒会活動が充実している。
(7)の回答… ① ② ③ ④

(8) 生活に関する相談や指導が充実している。
(8)の回答… ① ② ③ ④

(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。
(9)の回答… ① ② ③ ④

(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。
(10)の回答… ① ② ③ ④

中高一貫教育についてのアンケート(市立稲毛高等学校附属中学校3年生・稲毛高等学校普通科1年生[内進生]保護者対象)

このアンケートは、保護者の皆様に中高一貫教育に関するご意見をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答はすべて枠内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

1 お子様稲毛高等学校附属中学校(以下「附属中」と言います。)を受検するにあたり、

次の各項目について、どの程度重視しましたか。

(1)～(8)までそれぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。

- ① とても重視した
② やや重視した
③ あまり重視しなかった
④ ほとんど重視しなかった

- (1) 高校受検がなくそのまま稲毛高校に進学できる。
(1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。
(2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。
(3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) Call教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。
(4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 中高の先生が共同して教えている。
(5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。
(6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。
(7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。
(8)の回答… ① ② ③ ④

2 お子様小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ(誰)から得ましたか。主なもの一つだけ選び○を塗りつぶしてください。

- ① 小学校の先生 ② 附属中の学校説明会・見学会 ③ 附属中のホームページ
④ お子様 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だち
⑧ 特に情報を得ないまま受検させた
2)の回答… ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

3 附属中で、次の項目についてどのくらい満足していますか。(1)～(10)までそれぞれ

当てはまる番号を一つずつ選んでください。

- ① とても満足している ② やや満足している
③ あまり満足していない ④ まったく満足していない

- (1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。
(1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。
(2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上させることができる。
(3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をおとして国際人としての視野が広がる。
(4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。
(5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。
(6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 高校生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)や部活動・生徒会活動が充実している。
(7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 生活に関する相談や指導が充実している。
(8)の回答… ① ② ③ ④
- (9) 中学特別教室(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。
(9)の回答… ① ② ③ ④
- (10) 総合的に判断すると附属中に満足している。
(10)の回答… ① ② ③ ④

以上で質問項目は終了です。ご協力、ありがとうございました。

(参考6) 市立稲毛高校・附属中学校【平成24年度普通科卒業生用アンケート】

千葉市教育委員会

このアンケートは、平成24年度市立稲毛高校普通科を卒業した皆さんに「千葉市立高校改革」に関するご意見をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答のマークシート部分はすべて枠内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

- 1 あなたの高校卒業後の進路について、当てはまる番号を一つだけ選んでください。
- ① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定
- 1の回答

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---
- 2 あなたは内進生(附属中学校から入学)ですか。外進生(高校から入学)ですか。
- ① 内進生 ② 外進生
- 内進生は質問3へ。外進生は質問4へ進んでください。
- 3 a あなたは中学時代に市立稲毛高校の生徒と同じ校舎で学んだことが、学習意欲の向上につながったと思いますか。
- ① とても思う ② やや思う ③ あまり思わない ④ まったく思わない
- 3aの回答

1	2	3	4
---	---	---	---
- b 高校1年時に同じ学年に外進生が入学してきたことは、学校生活における意欲の向上につながったと思いますか。下のア、イの場面ごとに番号①～④から選んでください。
- ① とても思う ② やや思う ③ あまり思わない ④ まったく思わない
- ア 学習や進路を考える場面
- イ ア以外の学校生活全般を行う場面
- 内進生は質問5へ進んでください。
- 4 高校1年時に同じ学年に内進生が在籍していたことは、学校生活における意欲の向上につながったと思いますか。下のア、イの場面ごとに番号①～④から選んでください。
- ① とても思う ② やや思う ③ あまり思わない ④ まったく思わない
- ア 学習や進路を考える場面
- イ ア以外の学校生活全般を行う場面
- 外進生は質問5へ進んでください。
- 5 高校3年時に内進生と外進生の混合クラス編成になりましたが、この時期について、あなたは どう思いますか。
- ① 3年生で良かった ② 2年生から良かった ③ 1年生から良かった ④ 混合しない方が良かった
- 5の回答

1	2	3	4
---	---	---	---
- 6 卒業後にあなたが考える「市立稲毛高校の魅力や特色」とは、どんなものだと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)
- ① 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実していること
- ② 文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをおおして、総合的に学力を向上することができること
- ③ Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高めること
- ④ 国際交流活動をおおして国際人としての視野が広がること
- ⑤ 中高一貫校による中学生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)があり、盛り上がること
- ⑥ 文武両道で部活動・生徒会活動が活発に行われていること
- ⑦ 進路指導における実績があること
- ⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること
- ⑨ その他(記載してください)
- 6の回答(複数回答可)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---
- 7 質問6の「市立稲毛高校の魅力や特色」は市立稲毛高校以外の友人や後輩に知られていると思いますか。
- ① とても知られている ② やや知られている ③ あまり知られていない ④ まったく知られていない
- 7の回答

1	2	3	4
---	---	---	---
- 8 市立稲毛高校はハイレベルな英語力、国際理解、実践的コミュニケーション能力を通して国際人の育成を目指しています。あなたは市立稲毛高校を卒業して、「真の国際人」に近づけたと感じますか。
- ① とても感じる ② やや感じる ③ あまり感じない ④ まったく感じない
- 8の回答

1	2	3	4
---	---	---	---
- 9 今、振り返り、あなたは市立稲毛高校(附属中学校)に進学したことを満足していますか。
- ① とても満足している ② やや満足している ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない
- 9の回答

1	2	3	4
---	---	---	---